年間授業計画 様式例

高等学校 令和８年度（２学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教 科： 家庭　　科 目： 家庭基礎　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（ 家基007-901新家庭基礎 気づく力 築く未来 ）

教科 家庭 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ，家族・家庭，衣食住，消費や環境など，生活を

【思考力、判断力、表現力等】・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定，解決策を構想・実践，考察する

【学びに向かう力、人間性等】・さまざまな人々と協働し，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を主体的に創

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め，生活を主体的に営むために必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解し，それらにかか	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける。	さまざまな人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善し，地域社会に参画するとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとする。。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	第１章　自分らしい生き方と家族 結婚、家族・家庭の多様化や、時代とともに変化する役割について理解する。 現在の家族の抱える問題・課題などについて考える。 現在の家族・家庭が抱える課題を見いだす。	1節　自立と共生 2節　ライフキャリア 3節　共に生きる家族 4節　家族に関する法律	結婚、家族・家庭の多様化や、時代とともに変化する役割について理解できる。 現在の家族の抱える問題・課題などについて考えることができる。 現在の家族・家庭が抱える課題を見いだそうとする。	○	○	○	4
	第２章　子どもとかかわる 子どもの誕生,子どもの心身の発達と特徴について理解する。 子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて、まとめる。 子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考える。	1節　子どもとは 2節　子どもの発達 3節　子どもの生活 4節　子どもをはぐくむ 5節　子どものための社会福祉	子どもの誕生,子どもの心身の発達と特徴について理解すできる。 子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて、情報を収集し、まとめることができる。 子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。	○	○	○	8
	第３章　高齢者とかかわる 高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解する。 要介護の高齢者と接する上で気をつけるべきことを考える。 高齢者とかかわる。	1節　高齢社会に生きる 2節　高齢者を知る 3節　高齢者の自立を支える 4節　高齢社会を支えるしくみ	高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している。 要介護の高齢者と接する上で気をつけるべきことを考えることができる。 高齢者とかかわろうとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
2学期	第５章　食生活をつくる 食事の意義や役割、食生活をとりまく環境などについて、現代の食生活の課題が理解する。 家族の食生活の計画と管理ができる。 積極的に参加し、取り組む。	１節　日本の食文化の形成 ２節　私たちの食生活 ３節　栄養と食品のかかわり ４節　食品の選び方と安全 ５節　食事の計画と調理 ６節　これからの食生活を考える	食事の意義や役割、食生活をとりまく環境などについて、現代の食生活の課題が理解できる。 家族の食生活の計画と管理ができるようになる。 積極的に参加し、取り組もうとしている。	○	○	○	14
	第６章　衣生活をつくる 衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ、用途に応じてどんな衣服が適切か理解する。 衣服の種類に応じた適切な選択や保管ができる。 衣生活の改善・向上に積極的に取り組む。	1節　人と衣服のかかわり 2節　衣服の素材の種類と特徴 3節　衣服の選択から管理まで 4節　持続可能な衣生活をつくる 5節　衣服の構造・デザイン	衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ、用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。 衣服の種類に応じた適切な選択や保管ができるようにする。 衣生活の改善・向上に積極的に取り組もうとする。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
3学期	第７章　住生活をつくる 住まいの機能・役割、またライフステージや家族構成などと住まいの関係について理解する。 ライフステージと住空間の設計の関係、住環境について考えを深める。 よりよい住生活の創造に向けて意欲的に取り組む。	１節　人間と住まい ２節　住まいの文化 ３節　住まいを計画する ４節　健康に配慮した快適な室内環境 ５節　安全な住まい ６節　持続可能な住まいづくり	住まいの機能・役割、またライフステージや家族構成などと住まいの関係について理解している。 ライフステージと住空間の設計の関係、住環境について考えを深めることができる。 よりよい住生活の創造に向けて意欲的に取り組もうとする。	○	○	○	8
	第８章　消費行動を考える 自分の消費行動について検証できる。 消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断できる。 消費行動、消費と環境とのかかわりについて積極的に理解する。	1節　消費行動と意思決定 2節　消費生活の現状と課題 3節　消費者の権利と責任 4節　ライフスタイルと環境	自分の消費行動について検証することができる。 消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断することができる。 消費行動、消費と環境とのかかわりについて積極的に理解しようとする。	○	○	○	6 合計 68